日本技術士会近畿支部

きんきしぶだより

No 51
1999・12・17

日本技術士会の課題

現在日本技術士会が当面している課題の中、処理を迫られている二つに支部としての認識を深めたい。

その一つは、APECエンジニアとしての資格に対応する技術士資格の国際的整合性を高めること、これに関連して日本技術士会の英文名称の Japan Consulting Engineers Association を Japan Professional Engineers Association 或いは適切な名称への変更をすべきかの問題、他の一つは日本技術士会の部門統合の問題である。

共に会員個々の利害を超えた高度からの判断を集約する必要に迫られている。従来の経緯とその得失、時代のニーズの変遷等をわきまえ、未来を予見しての裁断が望まれる。

現在の傾向を単純に延長して将来を考えるのでは、将来を考えたことにはならない時代なのである。　　稲本　渡

目　　次

日本技術士会の課題	稲本　渡	1
目　　次		1
近畿地域産官学と技術士合同セミナー	近畿支部	2
近畿支部防災研究会だより	防災研究会	3
近畿支部建設部会だより	山田　俊満	3
「シンポジウム 国際協力に求められる技術的人材」に出席して	長　惇夫	4～5
モンゴルの草の根技術	武田　和忠	6～8
南アフリカ花の旅	真多　博志	9～11
繊維技術物語	谷本　義雄	12
近畿支部名簿作成状況	稲本　渡	13
第26回技術士全国大会報告	竹下　常四郎	14～15
支部長会・理事会報告	加藤　薫	16～17
本部委員会に参加して	山田　俊満	18
行事案内		19～20
編集後記		20